

2020 年 3 月 31 日

ハイスクール生徒ならびに保護者の皆様へ

リモートラーニング（遠隔学習）の第二段階について説明します。学校区は、オレゴン教育省（ODE）の指示により、補足的な教育と学習サポートを生徒に提供する包括的な計画を立てました。その計画、リモートラーニング第二段階の概要を以下に示します。しかし、昨夜（3月30日）、ODEは全ての生徒に対して遠隔学習の計画を実施する必要があると学校区へ通知しました。それは、生徒に補足的ではなく完全な遠隔学習体験を提供することを意味します。この新しい指示はより複雑であり、その実施計画にはさらに時間がかかります。

以下の説明の通り、遠隔学習の第二段階は4月10日まで実施します。ODEの指示により、遠隔学習第三段階を4月13日から5月1日まで実施します。第三段階の概要については、4月6日の週にお知らせします。

以下に説明がある第二段階は、生徒のためのより包括的な学習体験に取り組むための良い出発点であると信じています。これにより、4月13日の第三段階で実施する課題に対応できるよう、ニーズを確認し準備する時間が確保されます。皆様のご協力に感謝申し上げます。

第二段階目 概要

この日々変化する COVID-19 パンデミックの中、皆様の忍耐に感謝申し上げます。ブラウン州知事の発令に従い、全ての学校は2020年4月28日まで生徒とコミュニティに対して閉鎖となります。状況が変化し閉鎖期間が延長された場合は、必要な調整を行い、生徒の学習損失を防ぐ機会を提供できるようにします。オレゴン州教育省（ODE）は、学校閉鎖期間中にオンラインとオフラインの両方のリソースを創造的に活用して、生徒とご家族が補足的な学習に従事することを奨励しています。

学校閉鎖中、学校区は生徒に補足の学習支援の機会を提供します。ビーバートン学校区（BSD）リモートラーニングプランの第一段階は、春休みを除く学校閉鎖中の最初の10日間（3月16日-4月3日）をカバーする内容でした。ブラウン州知事による4月28日までの学校閉鎖延長により、学校区 Teaching & Learning 部門ではリモートラーニングプランの第二段階を計画しました。高校生向けのリモートラーニング第二段階についてこの手紙で説明します。

第一段階と第二段階の大きな違いは、学校区の教師の関与です。教師が学習の機会を提供し、提出された生徒の課題についてフィードバックを出し、定期的に生徒と繋がります。現時点では、生徒がリモートラーニングに参加するのは義務ではありませんが、提供されるリソースにアクセスし、割り当てられた課題を完了し、教師と関わるのが奨励されています。教師は生徒の課題に成績をつけず、生徒が参加しない場合に生徒に責任を問うことはありません。しかし、学校を離れ学習に従事していない時間が将来の学業の成功に大きな悪影響を与える可能性があるため、この学習の機会に参加することをお勧めします。

学校閉鎖は、特に高校生に対して強い影響を与えたかと思います。オレゴン教育省より、この分野に関する具体的なガイダンスが間もなくある予定です。12年生の卒業要件や単位取得に対処するための情報がある予定です。

リモートラーニングプラン 第二段階 の目標

- 教師と生徒をつなぎ、関係を維持し、この困難な時期に社会的・精神的なサポートをする。生徒とスタッフの健康が私たちの最優先事項です。
- 学習の損失を防ぐため、一般的なカリキュラムに関連する補足学習の機会を提供する。
- 12年生がハイスクールを卒業できるよう、単位取得の機会を提供する。
- 全ての生徒が学習機会に公平にアクセスできるようにする。

- リモートラーニングを効果的に進めるためのツールとテクニックを使用し、教師と管理職スタッフにトレーニングとサポートを提供する。

リモートラーニングプラン 第二段階計画

ハイスクール 日々のスケジュール

- 月: 1 & 2 時間目
- 火: 3 & 4 時間目
- 水: 5 & 6 時間目
- 木: 7 & 8 時間目
- 金: ソーシャルエモーショナルラーニング (SEL) 活動またはオンライン上での集会(assemblies)など

リモートラーニング ハイスクール教師のスケジュール

- 月 - 木:
 - 30 分間: 各クラス/生徒達と繋がり指導をする (クラス全体への一斉指導または少人数グループ)
これらのアクティビティの大部分は、クラス全体で同時に実行するものではありません。(計 60 分間)
 - 120 分間: 指導計画、アセスメント/フィードバック、カリキュラム開発、IEP ミーティング
 - 60 分間: オフィスアワー/生徒や家族との個々のやりとり
- 金:
 - 45-60 分間: 管理職やカウンセラー、その他のスタッフ主導によるソーシャルエモーショナルラーニング活動、またはオンラインでの集会
 - 90 分間: 指導計画、アセスメント/フィードバック、カリキュラム開発、IEP ミーティング
 - 90-105 分間: オフィスアワー/生徒や家族との個々のやりとり

ハイスクール生徒に推奨される日々の活動

- 教師が提供する学習機会に参加する
- 日々の課題を自力で完成させる
- クラスメートと繋がり協力する
- 読書
- 運動

スペシャルエジュケーションサポートについて

生徒は補足学習の機会をどこで受けられますか？

- リソースルームにて普段の指導を受けている生徒も、一般クラスの教師からの指導にアクセスし、一般教育の日々のリモートラーニングに参加します。生徒のスペシャルエジュケーション教師がサポートを提供するためご連絡を差し上げます。
- スペシャルエジュケーションの専門プログラムに所属している生徒は、スペシャルエジュケーションの教師と一般クラスの教師が提供する補足学習にアクセスできます。
- 障害のある生徒で、一般教育を一日のうち一部参加している生徒は、一般クラスの教師がその科目で提供する教育活動に参加する必要があります。
- スペシャルエジュケーションの教師、ケースマネージャー、またはサービスプロバイダーが提供する指導は全て補足的な内容です。現時点では生徒個々にデザインされた教育 (SDI) ではないことをご理解下さい。

その他のスペシャルエジュケーションリソース

- ケースマネージャーとサービスプロバイダー (リソースルーム教師、特別教育教師、言語療法士、心理学者、運動技能専門家チームなど) は、生徒への補足的な指導ができるようご家族に連絡してミーティングをスケジュールします。
- NWRESD のリモートラーニングプランにより、視覚・聴覚障害を持つ生徒に対しては、NWRESD より教師が連絡します。
- [Supplementary Instructional Resources, Handouts, and Templates](#)

IEP ミーティング

- ケースマネージャーは、開かれなかった IEP ミーティングをスケジュールし直します。
- すでにスケジュールされているミーティングに関しては、実施します。
- ケースマネージャーは、学校閉鎖中に行われる将来の IEP ミーティング についてスケジュール調整のため連絡します。
 - 学校の閉鎖により現在のレベルが適切でないと判断された場合、ケースマネージャーは、生徒が学校に戻るまでこれらのミーティングを延期します。 生徒は、新しいミーティングが開かれるまで、IEP に記載されているサポートとサービスに引き続きアクセスできます。
- 全てのミーティングは、zoom, google hangout または電話にて行われます。保護者の学校への来訪、また学校スタッフが家庭訪問することは禁じられています。

ELD サポートについて

英語が母国語でない生徒はどのように学習の機会を受けますか？

- 統合モデル(integrated model)にて ELD サポートを受けている生徒は、ELD 教師の協力のもと、一般クラスの教師が提供する学習機会にアクセスできます。
- ELD クラス モデル(ELD class period model)にて ELD サポートを受けている生徒は、各科目の教師の協力のもと、ELD 教師からの学習機会にアクセスできます。
- 普段の ELD 教授方法に関係なく、ELD 教師が担当の生徒の様子を確認します。
- 英語学習者の生徒も、一般クラスの教師からの指導にアクセスし、科目ごとの活動に参加します。
- 各科目教師、ELD 教師が提供するのは補足的な学習機会であることをご理解下さい。

Multilingual Department (MLD)部門では生徒と家族にどのようなサポートを提供しますか？

通訳また翻訳が必要な場合は [phone number list](#) へ電話してメッセージを残していただくか、またはこちら [here](#) ヘメールを送信して下さい。また、COVID-19 に関連する翻訳はこちら [here](#) から言語ごとにご覧になれます。